

## 年末年始の医療崩壊回避のための緊急特別対策の実施について

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部は、昨日開催した本部会議において、年末年始の医療崩壊回避のための緊急特別対策期間を12月14日から令和3年1月12日まで実施することを決定し、改めて、県民の皆様に感染防止対策への協力を呼びかけました。

一方、宮古島市においても、昨日、市内の中学校に通う生徒一人の感染が判明し、当該中学校については、本日から休校としております。

中学校の休校に係わる状況については、後ほど、教育長から詳しく説明を致しますが、先に、沖縄県の「年末年始の医療崩壊回避のための緊急特別対策」の内容に関連して、宮古島市において、これ以上の感染拡大を防ぐため、市民の皆様に年末年始に向けて更なる注意を呼びかけ、感染防止対策のご協力をお願いします。

沖縄県は12月に入り、新規感染者や療養者数が増加し、病床数が逼迫していることから、改めて、年末年始に向けて注意を呼びかけていますが、特に離島は医療が脆弱であることから離島の往来については必要最小限とするよう呼びかけています。宮古地区においては現在、感染者が急増し、家庭内感染や職場内感染が増え、医療フェーズも最上位の第5段階に引き上げられる等医療体制が危惧される状況になっています。

全国においても感染者が増え続けている状況の中、これから年末年始を迎え、お正月や成人式等を家族で過ごすため、帰省を予定されている方も多いと思います。帰省に際しては、帰省前から体調管理を行い、大勢での飲み会を避ける等感染対策を徹底し、体調不良時は帰省の延期検討もお願いします。

また、今年は市主催の成人式典が中止になり大変残念ですが、帰省して久しぶりに友人等と会う場合でも、一人ひとりが大人として節度ある行動をし、大人数での会食や三密を避ける、体調不良時は人と逢わない等感染対策を徹底して下さい。

特に、高齢者や基礎疾患を持っている方と同居している方や面会をされる

方は、マスクの着用や手指消毒を徹底し、帰省直後や会食後は面会を控える等十分に気をつけて頂きたいと思います。

年末年始は同居家族と過ごし、不特定多数との接触を避ける行動をお願いします。クリスマスや正月の初詣等は混雑を避け、境内（けいだい）では飲食を控える、人が大勢集まる場所ではマスクの着用、手指消毒、三密を避ける等十分な感染対策をお願いします。

飲食や会食の機会がある場合は、感染対策がしっかりとられた三密を避けた店舗を利用し、4人以下、2時間以内とする。帰宅後は手洗いやうがい等感染防止対策を徹底し、家庭内での感染の広がりを防ぐ取組を実施してください。

飲食店においても、宮古島市は沖縄県の営業時間短縮の要請地域には含まれませんが、利用者には4人以下、2時間以内の利用、マスクの着用等と呼ばかけ発熱や症状のある場合は入店させない、体調の悪い従業員は仕事を休ませる、換気をこまめに行う等感染対策を徹底して頂きますようご協力を宜しくお願いします。

熱や咳等の症状がある場合は、直接病院へ行かず、かかりつけの病院か市の電話相談室へまずは電話で相談してください。休業中や時間外は24時間電話相談を受け付ける沖縄県コロナコールセンターをご利用下さい。

現在宮古地区は医療フェーズが最上位のレベル5であり、新規感染者がこれ以上増え続け、集団の場での感染や高齢者への感染が広がると、コロナ以外の重症患者も診療する宮古病院で医療崩壊がおきる危険が迫っています。

市民の皆様には、年末年始は気を緩めることなく引き続き、マスクの着用、こまめな手洗い、うがい、三密を回避した行動等で感染防止対策を徹底し、新規感染者を抑え、医療崩壊の回避へ向けてご協力をお願いします。

続いて、新型コロナ感染に伴う市内中学校の休校措置等の対応状況について、教育長から説明します。